

市政記者各位

2022年6月6日
福岡市博物館

6～7月の企画展示

「はかた伝統工芸館連携企画 手仕事の美と技 2－曲物－」 「動く海の中道－消えゆく遺跡－」を開催します

福岡市博物館の企画展示室では、歴史、考古、民俗、美術の各分野の学芸員が、さまざまなテーマを設け、博物館資料や館外の文化財を展示しています。この度、以下の通り企画展を開催いたしますので、ぜひご取材頂きますようお願いいたします。

① はかた伝統工芸館連携企画 手仕事の美と技 2－曲物－ 6月14日(火)～8月15日(月)

薄い板を曲げ、端をとじ合わせて作る曲物（まげもの）。福岡市では主に東区馬出で製作されています。馬出では、古くから筥崎宮（東区箱崎）の神前に供える祭具を納めていましたが、次第に飯櫃や寿司桶などの生活用具も作られるようになり、人々に普及したといわれています。また、曲物は「お食い初め」や「お膳座り」（または「真菜の祝い」）といった子どもの通過儀礼のなかでも使われています。本企画展では、東区馬出に伝わる博多曲物を中心に、くらしの様々な場面で使われてきた曲物 約 80 点を紹介します。



①「ポップ膳」
「お食い初め」など子どもの通過儀礼のなかで使われている

② 動く海の中道－消えゆく遺跡－ 7月12日(火)～10月23日

日本の遺跡の多くは地中にありますが、海の中道の中ほどにある奈多砂丘B遺跡は、一部が地上に露出しており、現状のまま観察することのできる珍しい遺跡です。外海の玄界灘に面しているため、打ち寄せる波や吹き付ける強い風の影響を受け、遺跡や遺跡を覆う砂が削られては堆積し、常に変化を続けているのです。



②「奈多砂丘B遺跡」

奈多砂丘B遺跡からは、2万年前頃の旧石器や1800年前頃の土器などが見つかっています。遺跡周辺の海岸沿いを実際に歩いてみると、風や波の強さや激しさを感じることができます。海の中道は、当時どのような景観で、人々はどのような生活をしていたのでしょうか。

今回の展示では、海の中道の変化を写真で振り返るとともに、発掘調査で出土した資料や採集された資料を紹介します。

【開催概要 共通】

- ・ 場 所 : 福岡市博物館 2階 企画展示室
- ・ 時 間 : 9時30分～17時30分（入館は17時まで）※7月22日（金）～8月26日（金）の金・土・日・祝日と8月15日は20時まで開館（入館は19時30分まで）
- ・ 休館日 : 月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日休館）
※8月15日（月）は開館し、8月16日（火）に休館
- ・ 観覧料 : 一般200（150）円 高大生150（100）円 中学生以下無料
（ ）内は20人以上の団体料金、料金は常設展示室・企画展示室共通